

国語総合 自宅課題 新聞投書を読もう①

投書とは、読者が新聞に投稿した文章で、新聞には読者の意見を掲載する「投書欄」がある。新聞の投書には、意見がコンパクトにまとめられており、論理的文章を読む基礎練習になる。論理的文章の中で筆者の言いたいことを一番よく伝えている文を、「主題文」という。投書を読んで、主題文を探す習慣をつけよう。

課題 次の文章は、新聞に掲載された投書である。この文章の主題文を見つけ、傍線を引こう。

中学生 大賀 さくら
(東京都立川市 13歳)
11月下旬、学校の総合授業の福祉体験で老人ホームに行き、おばあちゃんたちのお世話をしました。耳が遠いので大きな声で話さなくてはならず、時代が違うので話もあまり通じませんでした。私はそんな経験が一度もなく、改めて大変な

ことが分かりました。
2日間でボール遊びやご飯の後片づけなど、いろいろなことを経験しました。仕事を終えることに、「ご苦労様」あり

お礼と笑顔の
大切さ学んだ

がとう」と言われ、とてもうれしかったです。また、

おばあちゃんたちが笑顔になってくれたので、私まで笑顔になりました。
私たちは普段、当たり前すぎて「ご苦労様」や「ありがとう」という言葉をあまり言いません。でも、私は福祉体験を通して知ったお礼の言葉と笑顔を、これからの生活の中でも大切にしていこうと思います。

課題 次の投書を読んで、鳥瞰読解法の手順で事実を囲み、主題文候補に傍線を引こう。
最重要主題文に◎をつけよう。

冬のデパートが暑いのはなぜ

会社員 河野 昭子

(東京都杉並区 43)

冬のデパートや商業ビルはなぜ暑いのか？ 東日本大震災を受け節電の必要性が叫ばれている今も、過剰なエアコンはあまり改善されていないように感じる。

今年に入り、冬物のコートを着て東京・新宿のデパートに入ったが、過剰な暖房で汗をかくほどの暑さ。重たいコートを手に持つ客に軽装の店員が応対する様子は、どこかおかしくないかと思う。

今年の夏はさすがに、例

年より過剰エアコンが少しは緩和されていると感じたが、いつも通り店内がキンキンに冷えたスーパーやコンビニも少なくなり、寒すぎてゆっくり買い物もできなかった。

これから冬本番を迎え、再び電力不足の問題が出てくるだろう。デパートなどは過剰なエアコンをやめて、客の服装に合わせた温度設定にしてほしい。高齢者や赤ちゃんのいる家庭の電気を消さなければいけない前にも、やるべき節電対策はまだある。

さらにできる人は、発展課題にチャレンジ！

発展課題 この投書の要点を100字程度で要約してみよう。マスは125字ある。

節電が叫ばれているのに、冬のデパートなどは暑く、過剰なエアコンは改善されていない。冬の電力不足に備えて、客の服装に向けた温度設定にしてほしい。高齢者や赤ちゃんの家庭に負担が行く前に、節電すべきである。(100字)

課題 次の投書を読んで、鳥瞰読解法の手順で事実を囲み、主題文候補に傍線を引こう。
最重要主題文に◎をつけよう。

2011.1.11. 発見も楽しさもあるお手伝い

小学生 半沢 泉
(神奈川県藤沢市 12)

先日、4年生の妹の冬休みの宿題を見て驚いた。その中に「お手伝い表」があったのだ。私も幼稚園のころの宿題には「お手伝い表」があったけれど、もう4年生にもなるのに出されるとは。妹に「友だちはそんなにお手伝いをやらないの?」と聞いたら、妹は「○○ちゃんは2週間に1回くらいで、××ちゃんは全くやらないらしい」と言う。

わが家では、お手伝いはやって当たり前のことだ。毎日、少しでもいいからやればいいと思う。例えば、洗濯物をたたむことはテレビを見ながらでもできる。妹もよく私と一緒に洗濯物の取り込みやお米ときなどのお手伝いをしている。

お手伝いをやると、いろいろ楽しいこともある。ちよつと以前に私が洗濯物を取り込んでいた時には、きれいな夕日に出会った。思わず写真をとってしまったほどのきれいな夕日だった。発見も、自分で工夫する楽しさもある。お手伝い表がなくても、お手伝いはやった方がいいと思う。

そういう私も、お母さんに言われてからしぶしぶやることもある。だから今年は、気持ちよく自分から進んでお手伝いをやろうと思う。

さらにできる人は、発展課題にチャレンジ!

発展課題 この投書の要点を100字程度で要約してみよう。マスは125字ある。

4年生の妹の冬休みの宿題にお手伝い表があり、妹の友だちがあまりお手伝いをしないと聞いて驚いた。わが家ではお手伝いはやって当たり前のことだ。お手伝いには、発見や自分で工夫する楽しさがある。自分から進んでの方がいい。(107字)